

経営比較分析表（令和2年度決算）

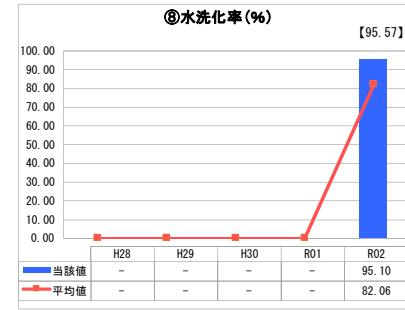
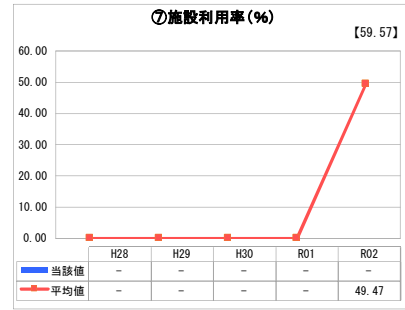
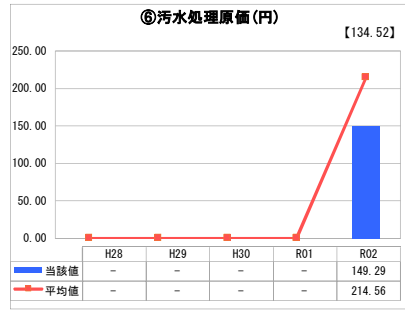
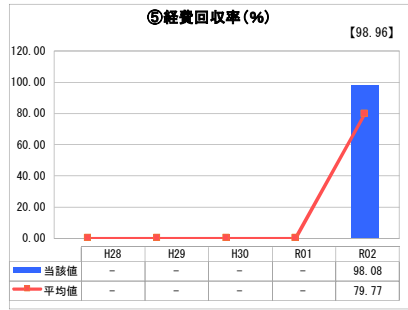
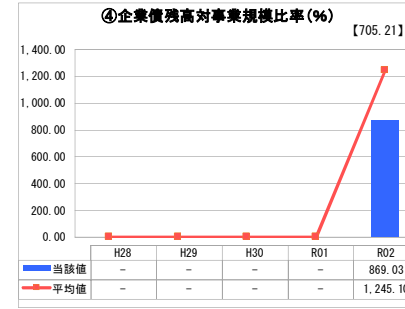
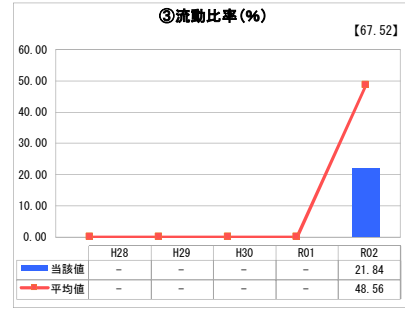
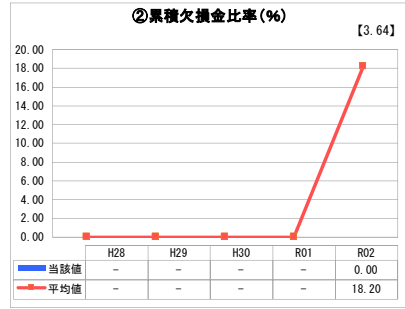
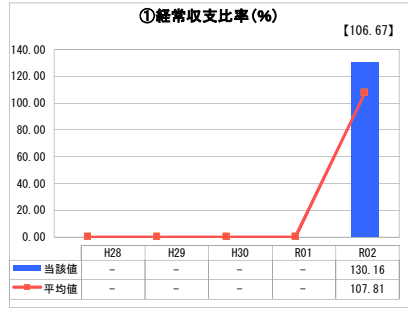
福島県 西郷村

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	71.91	75.15	-	2,750

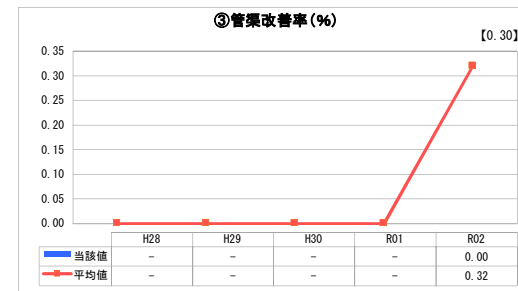
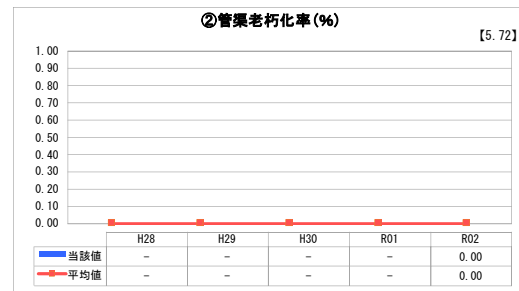
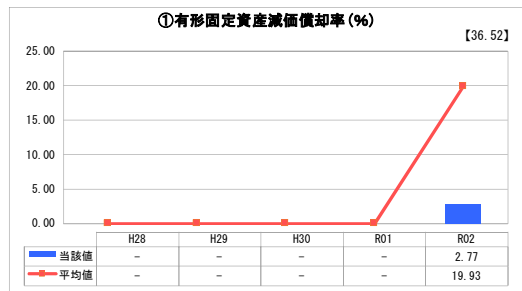
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,254	192.06	105.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,120	7.16	2,111.73

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当村は、令和2年度から地方公営企業法の全部を適用したため、経営比較分析上では令和元年度以前の比較は表示されていない。

- ① 経常収支比率：100%以上であり、単年度収支は黒字を確保しているが、長期前受金戻入額や一般会計からの繰入の影響が大きい。（⑤経費回収率が100%を切っている要因の一つでもある。）
- ③ 流動比率：100%を大きく下回り、類似団体及び全国の平均と比較しても低水準だが、企業債償還をその年度毎に一般会計からの繰入で賄う割合が多いことが主な要因である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率：全国平均を上回っているが、今後大規模な下水道施設工事を行う見込みはないため、さらに減少していく予定である。
- ⑤ 経費回収率：類似団体を上回ってはいるが、100%を切っており、適正な使用料収入の確保が必要となっている。
- ⑥ 汚水処理原価：類似団体と比較すると低い水準ではあるが、今後の人口減少等により原価の上昇も見込まれるため、対策が必要である。
- ⑧ 水洗化率：類似団体と比較すると高い傾向にあるが、100%を目指し今後も啓発活動に努めたい。

2. 老朽化の状況について

当村の下水道は供用開始から約28年経過しており、平成28年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、計画の見直しを随時図りながら、老朽化対策を行っていく予定である。

全体総括

現状として一般会計からの繰入の依存度が高く、また今後の人口減少見込みや節水型機器のさらなる普及など、使用料の低下が予想されることや、老朽化対策を積極的に計画していく必要があることから、経営戦略やストックマネジメント計画を随時見直し、長期的な事業運営に必要な使用料単価の検討等を行う必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。